

三浦一馬

バンドネオン・シネマ

— 映画音楽の巨匠たち —

「モリコーネ」「マンシーニ」
「ニーノ・ロータ」

Program

映画「ティファニーで朝食を」
—— ムーン・リバー / ヘンリー・マンシーニ

映画「ひまわり」
—— ひまわり / ヘンリー・マンシーニ

映画「ニュー・シネマ・パラダイス」
—— ニュー・シネマ・パラダイス / エンニオ・モリコーネ

映画「ミッション」
—— ガブリエルのオーボエ / エンニオ・モリコーネ

映画「ゴッドファーザー」
—— 愛のテーマ / ニーノ・ロータ

映画「太陽がいっぱい」
—— 太陽がいっぱい / ニーノ・ロータ

ほか

※曲目は公式サイトをご確認ください。

※都合により曲目・曲順などを変更させていただく場合がございます。

※未就学児入場不可

*就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。

託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222

バンドネオン
三浦一馬

絶大な人気を誇るバンドネオン奏者三浦一馬が
クラシック界を担うメンバーと豪華サウンドで奏でる極上の70分。
映画音楽の黄金時代を築いた巨匠の作品をお届けします。
哀愁漂う美しいメロディーが誘う、心優雅なひとときをお楽しみください。



ヴァイオリン
西江辰郎



ヴァイオリン
ビルマン聡平



ヴィオラ
生野正樹



チェロ
富岡廉太郎



コントラバス
高橋洋太



ピアノ
京増修史

2024. 8.10 [土]

全席指定 5,000 円 (税込)

- ローソンチケット <https://l-tike.com/miura-bandoneon/> ※PC/スマートフォン共通 (Lコード:31625)
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/miura-bandoneon/> ※PC/スマートフォン共通 (Pコード:263-959)
- イープラス <https://eplus.jp/miura-bandoneon/> ※PC/スマートフォン共通
- 朝日ホール・チケットセンター <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>
03-3267-9990 (日・祝除く 10:00 ~ 18:00)
- MITT TICKET 03-6265-3201(平日 12:00~17:00)

第一部 12:30 開場 13:00 開演
第二部 16:30 開場 17:00 開演

浜離宮朝日ホール

主催：朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/合同会社 Moon
問い合わせ先：Mitt 03-6265-3201 (平日 12:00~17:00)

MOON PRODUCTIONS

KAZUMA MIURA BANDONEON CINEMA

三浦一馬 Kazuma Miura Bandoneon

10歳よりバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。

2008年10月、イタリアのカステルフィdalドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。

2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バジュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2014年度出光音楽賞受賞。既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられる。

2016年はデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カメラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拡げている。

2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソロイストとしての初音源「ブエノスアイレス午前零時」をリリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。2022年12月にピアソライヤーの最後飾新譜「三浦一馬五重奏団「ピアソラスタンダード&ビヨンド」」を発売。

また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。

西江辰郎 Tatsuo Nishie Violin

新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター及び、久石譲Future Bandバンドマスター。幼少期より辰巳明子氏に師事し、桐朋学園ソリストデュプロマコース修了。スイスに留学しティボール・ヴァルガ氏に師事。メソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。

2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢されSPC大賞、セレーノ弦楽四重奏団にて録の風音楽賞、松尾音楽助成などを受賞。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしてもクリスティアン・アルミンク、ギュンター・ビヒラー、外山雄三、ダグラス・ボストーク、佐渡裕らの指揮のもと国内外のオーケストラと共演。ミッシェル・マイスキー、ジュゼッペ・アンダローロらとの室内楽や各地の音楽祭にも招かれている。

マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして出演。16年「題名のない音楽会」にピアノの上原ひろみとゲスト出演。6弦エレクトリック・ヴァイオリンにて久石譲の「室内交響曲」のソリストを務め、世界初演。20年、21年にはHiromi Piano Quintetのメンバーとしてブルーノート東京にて「Save Live Music Returns」に出演。Fuji Rock Festivalへの出演や全国ツアーを行った。ディスコグラフィーも多く、いずれも好評を博している。

ビルマン聡平 Sohei Birman Violin

兵庫県神戸市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、スイス・ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。

ローザンヌにおいてSinfonietta de Lausanneのアカデミー課程修了。

山本彰、工藤千博、澤和樹、清水高師、ピエール・アモイアルの各氏に師事。

8歳で京都音楽コンクール金賞奨励賞。

全日本学生音楽コンクール(中学の部)第3位入賞。日本演奏家コンクール優勝。

YBP国際コンクール優勝。大阪国際コンクール第3位入賞。

2016年入団。新日本フィル 首席第2ヴァイオリン奏者。

生野正樹 Masaki Shono Viola

1978年大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。

内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク = モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。ソロアルバムを三枚、四枚組BOXCD「ノスタルジック・メロディーズ」をManar Music Japanより発売。これまでに東京フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、広島交響楽団、山形交響楽団、大阪フィル、仙台フィルなど全国の主要オーケストラに客演首席として参加。

2016年は活動を一時休止しドイツへ留学。2019年天皇陛下即位祝賀式典オーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオ AXIS、昴 21 弦楽四重奏団、東京グランドソロイストメンバー、RENTARO 室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。

富岡廉太郎 Rentaro Tomioka Cello

1986年札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、バーゼル音楽院 MASP を修了。

チェロを上原興四郎氏、毛利伯郎氏、弦楽四重奏を Rainer Schmidt 氏に師事。

2006年 ウェールズ弦楽四重奏団を創立。

2008年 ミュンヘン ARD 国際音楽コンクールカルテット部門第3位。

2011年 第7回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。

ウェールズ弦楽四重奏団の活動や、主要オーケストラの客演首席を始めとし、国内外の多数のコンサート、音楽祭に出演。

2014年6月から2017年3月まで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席チェロ奏者を務める。

2017年11月より、読売日本交響楽団首席チェロ奏者。

高橋洋太 Yota Takahashi Contrabass

桐朋学園大学卒業後、2006年に同研究科修了。同時に東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞 2007年東京・青森にてデビューリサイタルを開催し絶賛を博す。2016年、デビュー10周年のリサイタルでは「楽器に対して非常に慎重に、そして楽譜に対して謙虚に対峙する」(音楽の友 2016年12月号)と評された。これまで、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭はじめ、各地の音楽祭に度々出演している。現在、東京都交響楽団奏者として活動するほか、ジョン・ミョンフン指揮アジア・フィルハーモニー管弦楽団や各地のオーケストラに首席奏者として招かれている。

また、バンドネオンの三浦一馬氏率いる五重奏団他、東京グランド・ソロイスト、久石譲氏プロデュース、FutureOrchestraClassics、MusicFuture などにおいて、メンバー及びソリストとしての演奏を始め、雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年3月にはコントラバスでは初録音となるピアソラ作曲の「タンゴの歴史」を収録した自身初のアルバムをリリースする。

京増修史 Shushi Kyomasu Piano

宮城県仙台市出身。4歳よりピアノを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業し、安宅賞、藝大クラヴィア賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、三菱地所賞を受賞。

また同大学大学院修士課程音楽研究科修了時、藝大クラヴィア賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール・ディプロマ。

2022年ロン＝ティボー国際音楽コンクールピアノ部門に出場。第5回ショパン国際ピアノコンクール inASIA 派遣部門ファイナリスト。第18回ヤングアーティストピアノコンクールピアノ独奏部門Dグループ金賞。

第65回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第3位。第60回全東北ピアノコンクール第1位及び文部科学大臣賞受賞。

第44回藝大室内楽定期に出演。藝大フィルハーモニー管弦楽団、プリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団(ポーランド)と共演する他、浜離宮朝日ホール、ヤマハホール、赤坂迎賓館など各地でソロリサイタルを含む多くの演奏会に出演。ピアノを石川哲郎、田代慎之介、津田裕也の各氏に師事。

会場

浜離宮朝日ホール
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階
TEL: 03-5541-8710

主催・お問い合わせ

主催：朝日新聞社／浜離宮朝日ホール／合同会社 Moon
問い合わせ先：Mitt 03-6265-3201 (平日 12:00~17:00)